



元氣とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 2024年11月18日 第1194号「週刊五十嵐レポート」

日本経済を人間ドックすると

11月15日付日経新聞、「デジタル競争力 日本31位」という記事。スイスのビジネススクールIMDは2024年の世界デジタル競争力ランキングを発表。日本の総合順位は67の国・地域の中で31位。前年から1つ順位を上げたものの、韓国や台湾など他の東アジア諸国との差は縮まっていない。

IMD北東アジア代表は、「単に順位に一喜一憂しないほしい。IMDが勝手にやっている人間ドックのようなものと考えてください。人間ドックのデータを毎年見ていく中で、自分の体質の良いところ、悪いところを見ていく。そして必要に応じて、自分の生活習慣を変えたり、行動を変える形で自分自身の健康やパフォーマンスを上げていくと理解していただきたい」という。

24年の首位はシンガポール、2位はスイス、3位がデンマークで、4位は米国。東アジアでは、韓国が6位、香港7位、台湾9位、中国14位。総合順位は「知識」「技術」「将来の準備」の3つの要素で決めている。

	日本	韓国	香港	台湾	中国	シンガポール
総合	31	6	7	9	14	1
知識	31	8	5	19	15	2
技術	26	14	3	7	15	1
将来	38	3	15	6	14	1

日本の強みは「知識」では、研究開発費7位。「技術」では高速インターネット回線2位。「将来の準備」ではロボットの流通2位。逆に弱みは「知識」では国際経験67位、高度外国人材56位。「将来の準備」では柔軟性と適応性63位。

セブン&アイの取締役のメンバーを見た。社外取締役に外国人や女性はいるが、常勤取締役には米国人1人だけ、女性や、アジア系外国人はいない。外国で活躍した日本人も少ない。いわば、たたき上げで役員になった人が多い。海外から買収提案に対し、創業者一族を含めたメンバーが株式を買取り未上場にする動きがある。守りに入った。世界各国に「セブンイレブン」はあるが、経営は純日本。

今回の世界デジタルランキングを見ると、やはりそうなのかな。

ちょっと
気になる出来事

11月11日付日経新聞、「地方都市コンパクト化に課題」という記事。人口減少が加速し、災害リスクも高まる中で地方都市はどのような街に変わればいいのか？

一つの答えは「コンパクトなまちづくり」。住宅や商業施設などを再編し街を縮める試みだが、あまり進んでいない。

開発が可能な市街化区域の内側で駅やバス停などに近い地域を選んで「居住誘導区域」を設ける。商業施設や福祉・教育施設などもできるだけ集める。交通の便がいいまちなかへ居住を後押しして街をコンパクトにする。

なぜ、街を縮める必要があるのか。人口が減っているのに街が広いままだと行政コストがかさむ。水道事業など。災害リスクにも備える必要がある。現実には進んでいない。強制力がない。

記事を読んで、これは「地域戦略」。民間企業だと、特定の地域に顧客を密集してつくと、最大のコストである移動コスト・時間が大幅に減少、利益を生み出す。自治体も「地域戦略」が必要なんだ。



一口メモ
知識

心を洗う

聖人これをもって心を洗い、退きて密に蔵（かく）れ吉凶、民と患（かん）を同じくす。

「これ」とは易経が説く中庸（ちゅうよう）の精神。物事を判断しなければならぬ時、中庸の精神に倣（なら）い、思い込みや、こうなってほしいという私心からの願望、私利私欲などを洗い流すように心を浄化する。

そして、静かな深い境地に心を置くことで、人々の苦しみや悩みを我事のように思いやり、感じることができる。

そうして養った徳を再び世に出たときに役立てるのである。

「易経一日一言」(致知出版/竹村亜希子)より

- 「戦略社長塾東京」小岩校 毎週日曜日・水曜日 午前10時～12時
- 「戦略社長塾東京」銀座校、武蔵村山校、豊岡校 開講中。

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5
TEL03-3659-7703 Fax03-3659-7077 info@igarashireport.com

